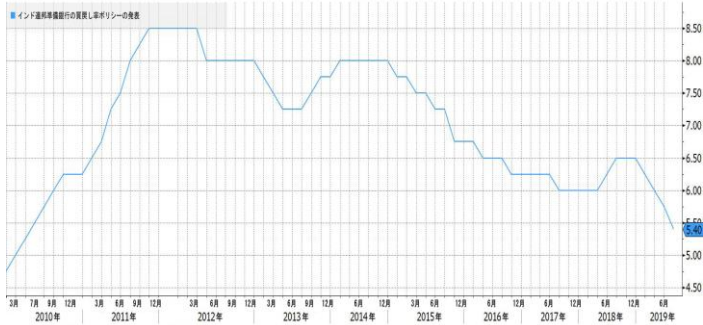


ハイライト

驚きの動き

インドは従来とは異なる35ベースポイントの利下げ



出典：インド連邦準備銀行

インドの連邦準備銀行は、インド国内の低迷する経済を復活させるために、今月初め、2010年以来の最低基準へと買い戻し基準金利を引き下げました。その、レポ・レートを35ベースポイント下げて5.4%に下げるという型破りな動きは、今年のRBIの4回目の削減であり、中国と米国の貿易戦争の拡大、FRBによる国内経済への支援中の利下げによる逆風から経済を守るためのものです。また、第2四半期のインフレ率は3.1%で軟調性を維持すると予想しているため、GDPの見通しを6月の7%という以前の予測から6.9%へと引き下げました。RBIは、インフレの見通しは軟調であり、最近のモンスーンと冬作の播種の進捗状況の追い上げが懸念を緩和していると述べました。RBIは今年、アジア地域で最も利下げに積極的でした。議事録では、MPCメンバー全員が満場一致で、緩和的な金融政策スタンスを維持し、レポ・レートを引き下げるべきという意向を示しました。(出典：Bloomberg, RBI)

インドの株式ミューチュアルファンドの国内投資家は、7月に限っては、17年ぶりとなる最悪水準に見舞われたにもかかわらず、7月に持ち株を増やしました。地元のファンドマネージャーがディップを購入したため、ストックプランは811億ルピー(約12億米ドル)の流入を受け、結果、6月にファンドが受け取った766億ルピー(約11億3000万米ドル)から増加となりました。銀行預金金利のさらなる引き下げが期待される中、株式は魅力的な選択肢であり続けるため、流れは持続するでしょう。YTD、FIIおよび国内MFは70億米ドルおよび60億米ドルの株式を購入しました。

(出典：Bloomberg, Goldman Sachs 調べ)

インドの中央銀行は、影の銀行(信用仲介活動)での信用収縮を緩和するための措置を講じ、景気減速を後押し

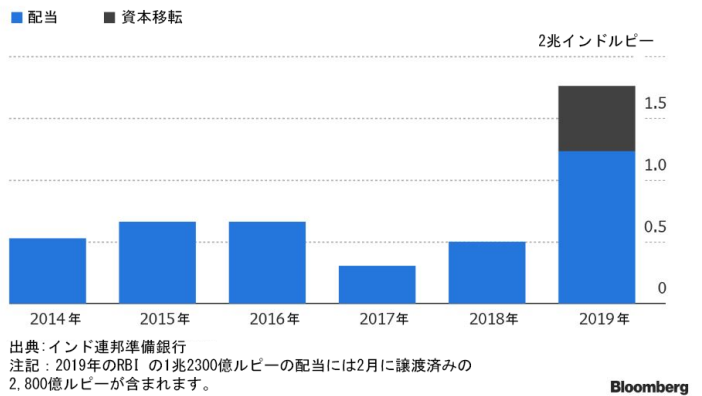
する措置の一部として、消費者への貸付に関する規則を緩和しました。

RBIは銀行のエクスポージャー限度を単一の非銀行金融会社へと引き上げ、以前の15%からTier1資本の20%に引き上げました。また、カードの売掛金を除く消費者信用のリスクウェイトを約125%から100%に低減しました。農業、中小企業、住宅ローン向けのNBFCへの銀行融資は、経済成長と雇用への主要な貢献者への信用フローを確保するために、優先セクター融資として分類されています。

(出典：Bloomberg)

キャッシュ・ウィンドフォール

インド中央銀行は政府配当への記録的な振替を承認



RBIはBimal Jalan委員会の勧告に従って、8月26日の理事会で、1兆7,600億ルピー(約245億米ドル)の剰余金を政府に移転することに合意しました。

月曜日にRBIによって承認された支払のほぼ70%は中央銀行が投資で得た収入、為替政策の会計処理の変更から得た利益、手形の印刷およびコインの鑄造で得た手数料に起因していました。残りの約5260億ルピーは剰余資本によるものです。その報告書で、Jalan委員会は、実現されたエクイティと再評価のバランスで構成されるRBIの経済資本がバランスシートの20%から24.5%の範囲内であることを推奨しました。そして、実現された公平的、または偶発的なバッファで、5.5%~6.5%を維持することが規定されました。RBI理事会は勧告を受け入れ、支払を記録しました。移転は、今年の成長の鈍化の中で、税の浮力の低下による収入の不足を相殺し、支出を増やす余地を拡張できるようにすべきです。また、政府が2020年度のGDPの3.3%という予算赤字目標を達成しやすくなります。

(出典：Goldman Sachs 調べ、RBI、Bloomberg)

重要な情報

このレポートは株式/単元のオファーではなく、株式への推奨、意見または広告と見なされるべきでもありません。また、将来起こり得るいかなる証券の利率や価格の動向を予測、または提示する性質のものでもありません。上記で言及された内容は情報提供のみを目的としており、特定の目的、財務状況、そして、本書を受け取る個人の特定のニーズに特化したものではありません。本書で言及されている証券や金融商品または投資戦略への投資の妥当性に関しては、別途助言を求めべきです。

お客様の投資目標を達成する上で、当社ができる支援について詳しくお知りになりたい方は、当社のUTI投資担当者にお問い合わせいただくか、[www.utifunds.com](http://www.utifunds.com) をご覧ください。

Signatory of:

